

# 5

# 島根大学統合報告書2023発行

## 本件のポイント！

【報告対象期間】2022年4月1日～2023年3月31日（令和4年度）

- ① 本学が制作する統合報告書とは
- ② 島根大学統合報告書2023のポイント

### ① 本学が制作する統合報告書とは

島根大学における教育、研究や地域・社会貢献、医療等の現況を、財務情報と関連付けながらステークホルダーの皆様へ説明することを目的として、令和2年度より毎年度作成しているものです。従来の財務報告書だけでは読み取れない「大学の価値」、「今後の成長性」などの非財務情報をステークホルダーの皆様へ発信できる冊子として活用しています。

この冊子は、大学広報の他、持続可能な経営を行うため、財務情報や教育研究活動の成果を広く社会にアピールし、多くの皆様へ本学の活動に共感いただくことにより、社会全体からのご理解とご支援を賜りたく、広く活用していきます。

※本編は冊子で制作し、データ編はウェブ上で公開しております。



▲ 統合報告書2023



データ編

### ② 島根大学統合報告書2023のポイント

#### 1. 島根大学ビジョン2021の実現に向けて P7-8 【価値創造プロセス】

国立大学法人の第4期中期目標期間（2022年度～2027年度）が昨年度から始まりました。これに伴い、島根大学ビジョン2021と第4期中期目標を一体として実施・達成するための実行計画を策定し、その実現に向けて取り組んでいます。

統合報告書では、本学が掲げる「島根大学ビジョン2021」に基づく価値創造への活動実績について、次の6項目に分けてご説明します。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| ① 人を育てる P17     | ④ 世界とつながる P29     |
| ② 地域・大学が変わる P21 | ⑤ 多様な力で未来をつくる P31 |
| ③ 地域を守る P25     | ⑥ 自然と共生する P32     |



▲ P7-8 価値創造プロセス

# 5

# 島根大学統合報告書2023発行

## 2. 特例的な定員増 「材料エネルギー学部」設置へ P17-18 【① 人を育てる】

島根大学の令和4年度の活動実績として特筆すべきなのが、工学系新学部「材料エネルギー学部」の設置認可です。法人化以降、国立大学の学部入学定員増が認められてこなかった中で、「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」に選定され、40名の学部定員増が認められました。

統合報告書では、申請の背景や新学部設置による将来構想、教授陣や教育の特色などについて、詳しくご説明しています。

▶ P17-18 人を育てる



## 3. 島根大学が推進する意欲的な大学改革 P35-36 【① 大学経営】

島根大学は、地域の共創の場としてさらに発展し、島根創生実現への貢献、自律的経営の確立に向け、意欲的に大学経営改革を進めています。特に近年は、文部科学省、内閣府から様々な事業の採択を受け、大学改革を推進しています。

「たたらプロジェクト」で推進してきた先端金属素材研究を基盤として、今年、材料エネルギー学部を設置しました。今後、材料エネルギー学部を含めた各学部の強み・特色に資源を集中させることで、傑出した教育・研究を推進する全学的学部改革へとつなげます。また、材料研究分野においては、産学協創の中心となり、産業変革のハブとなる「産学連携インキュベーションセンター」の整備を進めていき、これらの取組により島根創生の中核地点となる「人と企業を呼び込む大学」を目指します。

統合報告書では、本学のごような大学経営改革の歩みや、将来展望について、右のように図でお示ししながら、ご説明しています。



▲ P35-36 大学経営



▲ P35-36より 島根大学の大学経営改革を示す図